



図書館だより 8月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや ★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

8月21日(日) ピッコの会・紙芝居、午前11時～ 8月11日(木) 午前11時～

※8月のたんぽぽおはなし会は、お休みです。

★図書館おはなし会&工作

(1階・おはなしのへや)

(日時) 8月27日(土) 午後3時～

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(内容) おはなしを読んだ後、ミニ水族館をつくります。

◆上映会 2階・視聴覚室

8月6日(土) 「キクちゃんとオオカミ」アニメ《45分》

7日(日) 「焼跡の、お菓子の木」アニメ《45分》

20日(土) 「ヒロシマ ナガサキ」《86分》

21日(日) 「やーさんひーさんしからーさん
—集団疎開学童の証言—」《41分》

※いずれも時間は、午後2時からです。

※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

読書感想画を募集しています。

～みんなで描く、本の世界は無限大!～

募集期間:7月1日(金)～8月31日(水)

※くわしくは伊勢図書館・小俣図書館カウンターまで

～戦争と平和について考えよう～

戦争体験おはなし会

(日時) 8月6日(土) 午後3時～

(場所) 1階・おはなしのへや

(語り手) 鈴井 尚夫 さん

(内容) 実際に体験した戦争のおはなしと、絵本の読み聞かせをします。平和の象徴である鳩をレースペーパーで折る工作をします。

◆◆ 原爆写真展 ◆◆

(日時) 8月1日(月)～22日(月)

午前9時～午後7時(最終日は、午後3時まで)

(場所) 2階・ギャラリー

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

8月

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

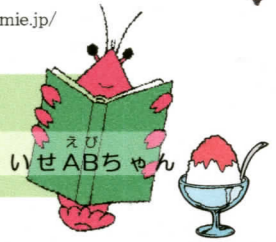
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

※9/27(火)～10/6(木)まで特別整理期間で休館です。

図書館だより 8月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社 図書館流通センター
(住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35
(電話) 0596-21-0077
(FAX) 0596-21-0078
(ホームページ) http://iselib.city.ise.mie.jp/

節電の夏、いかがお過ごしですか?
今年はちょっとテレビを消して、本の世界に
浸ってみるのもいいかもしれませんよ!
テレビもおもしろいですけどね(*^-*)



「おはなし会」

《日時》毎週土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

8月6日/おにいさん、おねえさんによる おはなし会

8月13日・20日・27日
/おはなしプーさんによるおはなし会



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》8月25日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、
手遊びなどをします♪

* おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、
上映会、平和を考える映画会は、参加自由です。
どうぞお気軽にご参加ください。



「10月～12月分施設抽選会」

《日時》8月5日(金) 午前10時～

(受付は午前9時50分～)

《場所》2階・視聴覚室

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜日・第2金曜日・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館・休館日カレンダー

8月

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



「上映会」

《日時》8月14日(日) 午後1時30分～

《場所》2階・視聴覚室

『ぼくのおばあちゃん』

イラストレーター、詩人・なかむらみつるの小説を基に、
家族のあり方、人々のきずなを丁寧に描いたホームドラマ。
この作品で、映画「初主演」の菅井きんが『世界最高齢映画
主演女優』として、ギネス認定されています!
(上映時間 123分)



「平和を考える映画会」

《日時》8月11日(木) 午後1時30分～

《場所》2階・視聴覚室

『ガラスのうさぎ』(朗読・インタビュー)
高木敏子 ～言葉の力で平和を築く～

『ヒロシマに一番電車が走った』(アニメーション)

(上映時間 64分)



「読書感想画を募集!!」

～みんなで描く、本の世界は無限大!～

* 好きな本を読んだ感想を、絵に描いてみませんか!?

《募集期間》7月1日(金)～8月30日(火)

小俣図書館では31日(水)まで受付しています。

* 8つ切り画用紙に描いた絵をカウンターにお持ち下さい。
(画用紙は、伊勢図書館・小俣図書館でも配布します。)

* 応募された読書感想画は、後日展示します。

《展示期間》小俣:9月10日(土)～9月26日(月)

伊勢:9月30日(金)～10月13日(木)

◆◆ なつやすみの宿題コーナー ◆◆

* 8月30日(火)まで/1階・児童書コーナーにて

* 自由研究・工作から、読書感想文や作文の書き方まで、夏休みの宿題に役立つ本を集めました!図書館ならではの、ちょっと昔の自由研究の本など、大人も懐かしく楽しめるかも?

本のごあんない

〔一般書〕

平和

Give Peace a Chance

太古の時代から繰り返されてきた戦争。人類の歴史は戦いの歴史だとさえ言われる。一因果応報一 いつの時代も戦争をひきおこすのは人間であり、その悲惨さに打ちひしがれるのも人間。そして戦争の記憶が風化するなか、言葉やカメラ、或は音楽で、次世代へ継承すべき遺産を残していくのもまた、人間である。

2011年の今年、日米開戦から70年の月日がたつ…。

◎ コレクション戦争と文学 8 アジア太平洋戦争 斃

(浅田次郎 奥泉光 川村湊 高橋敏夫 成田竜一/編集委員 北上次郎/編集協力 集英社)

◎ 戦争へ、文学へ 「その後」の戦争小説論 (陣野俊史/著 集英社)

◎ PAPA&CAPA ヘミングウェイとキャパの17年 (山口淳/著 阪急コミュニケーションズ)

◎ あの戦争と日本人 (半藤一利/著 文芸春秋)

〔児童書〕

調べよう! 見つけよう!

普段何気なく頭に浮かぶ不思議なことや気になること。

その中に解決できていない疑問はありませんか?

そんな疑問を図書館で解決してみよう!

たくさん「なるほど!」「そうだったのか!」が見つかった、新しい発見のできる本を集めました。

★ 知識が増える辞書引き術 (深谷圭助/監修 フレーベル館)

★ 最新こどもおもしろ学習館 (主婦と生活社)

★ 日本と世界をくらべるえほん Kid's BEST (ふゆのいちこ/え 学研教育出版)

★ 知ってびっくり! もののはじまり物語 (汐見穂幸/監修 学研教育出版)

★ こども大図鑑 なんでも! いっぱい! (ジュリー・フェリス/ほか編集 キム・フライアン/(ほか)執筆・監修

米村でんじろう/日本語版監修 エス プロジェクト/日本語版編集 河出書房新社)

〔ヤングアダルト〕

向田邦子

向田邦子氏が亡くなられてから、今年で30年です。著作には、映画化されたものや有名なものがたくさんあります。最近では、様々な作家の作品を集めた短編集に取り上げられ、今も色あせない新鮮さが光っています。ぜひこの機会に読んでみてはいかがでしょうか。

〔一般書〕

☆ 思い出トランプ (向田邦子/著 新潮社)

☆ 父の詫び状 (向田邦子/著 文芸春秋)

☆ 向田邦子の青春 (向田和子/編著 文芸春秋)

☆ 向田邦子・映画の手帖 二十代の編集後記より (向田邦子/著 上野たま子/編 栗原敦/編 徳間書店)

〔児童書〕

☆ 中学生までに読んでおきたい日本文学 (松田哲夫/編 あすなろ書房)

★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

〔ヤングアダルト〕とは…

中・高生の読者に対して使われている言葉です。こちらでは、十代の若い世代におすすめの本を紹介しています。



ティーンズの本棚(伊勢) (小俣では児童文学コーナー)で好評のシリーズ。向田邦子氏の作品は、5巻(家族の物語)、9巻(食べる話)に収録されています。

風に祈る

—五風十雨—

「雨甘く、風和^{やわらか}にして」

風日祈祭で奏上された、昔の祝詞の一節。

風日祈祭は、天候が順調で、五穀が豊穡であるよう祈る神事で、現在では五月十四日と八月四日の二度、外宮・内宮その他の宮社で執り行われる。

古くは「日祈内人」という神職によって、七月朔日から八月晦日に至るまで毎日行われていたという。そして彼らが主として奉仕したのが、風の神を祀る内宮の風日祈宮と外宮の風宮であった。

旧暦八月一日の「八朔」は「二百十日」、「二百二十日」とともに古くから台風が来襲する確率が高いため、農家にとって最も警戒すべき厄日とされてきた。この時期は稲の花が咲き穂を出し始める頃であり、暴風雨があると稲作が大きな打撃をうける。そのため農村では直前か当日に風祭りを行ったり、風除けの呪いをしたりした。一般的な風除けの祈禱には「風切鎌」といって古鎌が使われるが、五月の風日祈祭では雨具である蓑と笠が供えられる。

—「五風十雨」—この言葉もまた、風日祈祭で唱えられた。

五日に一度風が吹き、十日に一度雨が降ることで、農作に都合の良い天候であることをいい、転じて、世の中が太平なことを示す。蓑笠を供える風日祈祭では、風雨を忌み嫌うのではなく、それもまた恩恵として受け入れているのである。

外宮の風宮、内宮の風日祈宮は、鎌倉期の元寇の際、神風を吹かせて蒙古軍を全滅に至らせ、その功績によって別宮に昇格した。

昭和34年の伊勢湾台風の際には、風宮だけが倒れた大木で屋根が割れるという被害を受けた。それはまるで自らを犠牲にして、神宮の宮社を守るかのようなだったという。

自然の脅威に驚かされる出来事が数多くある。

古代の人々が神と崇めたのは、山や森、海といった自然であり、それら大自然への感謝や畏怖から、信仰は生まれた。

現代に生きるわたしたちは、どうだろうか。



➤ 伊勢神宮 知られざる杜のうち (矢野憲一/著 角川書店 L174/ヤ)

➤ 伊勢神宮 神の森に参る旅 (ランダムハウス講談社 L174/イ)

➤ 伊勢神宮ひとり歩き (中村葉子/著 中野晴生/写真 ポプラ社 L174/ナ)